スキャン分類：内視鏡関係

上部消化管内視鏡検査を受ける方へ

1）上部消化管内視鏡検査とは

内視鏡を口から挿入し、咽頭（のど）、食道、胃、十二指腸を観察する検査です。

潰瘍、ポリープ、ガン等の病気の発見や組織を採取します。

2）のどの麻酔

キシロカインという麻酔薬を使用します。まれにこの薬でアレルギーを起こす方がいます。

以前に内視鏡検査や歯の治療の際に麻酔で具合が悪くなったことがあればお申し出下さい。

3）注射

通常、検査を行いやすくするために胃の働きを止める薬（抗コリン剤）を注射します。

この薬はまれに緑内障の発作（眼圧が上昇し目が痛くなる）を誘発したり、前立腺肥大の方では尿閉（尿が出なくなる）を起こすことがあります。また、狭心症・心筋梗塞・心筋症の方は心臓に負担がかかります。以上のような病気におかかりの方はお申し出下さい。

また、嘔吐反射の強い方は軽い静脈麻酔薬（眠る薬）を注射する場合があります。

この注射をした後はボーッとした感じが残る場合がありますので車の運転はおやめ下さい。なお、この薬により呼吸が抑制される場合があるため、高齢の方や呼吸不全の方には使用しません。

4）内視鏡の挿入・観察

内視鏡を挿入する際、まれにのどの損傷を来すことがあります。また検査中にもまれに消化管損傷を起こし、出血や穿孔を来すことがあります。

万一このようなことが起きた場合には、入院治療や手術が必要になる場合があります。

5）生検組織検査

検査中に病気が見つかった場合、病変の一部を採取して顕微鏡で詳しく調べる生検組織検査を行います。生検の際にごく少量の出血がありますが、通常は自然に止血します。しかし、まれに大量の出血が起きたり、検査終了後に再出血することがあります。このような場合には内視鏡を用いて止血術を行う必要があり場合により入院が必要になりますので、検査後に黒い便が出たり、血を吐いたり、ふらつき感が続くときはすぐに病院にご連絡ください。

<u>※担当医師と検査施行医師は異なる場合がありますのでご了承ください。</u>

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・同 意 書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

私は上部内視鏡検査について、上記のごとく説明を受け、了解いたしました。

ついてはその実施を依頼いたします。

平成　　年　　月　　日

患者氏名　　印

現住所

独立行政法人国立病院機構　信州上田医療センター